

大腸がん検診は 本人が来なくても受けられる唯一の検診です

近年、大腸がんの罹患数は急増しており、特に女性では部位別死亡数1位です。

大腸がん検診の手順

ご自宅

- ① 同封のチラシをよく読み、受検日を決める。
- ② **受検票を記入**する。
- ③ 都合のよい受検日に合わせ、**2日分採便**する。

検診会場

- ④ 受検日に「**採便容器**」「**受検票**」を提出し「**会計**」をする。
※提出は代理の方でもかまいませんが、記入済みの受検票を忘れずにお持ちください！！
↓
- ⑤ 約1か月後に検診結果がご自宅に届きます。

持ち物

採便容器



受検票



検診料

1,000円

●こんな症状はありませんか？

下記のような症状がある方は、検診を待たずに、早めに病院で診察してもらいましょう。

- ・便に血が混じる。
- ・急に便の太さが変わった。
- ・下痢と便秘を頻繁に繰り返す。
- ・肛門から出血する。

また、がんは少しずつ成長するので、検診を受けて異常がみつからなくても、年に一度検診を受けましょう。

●精密検査は必ず受けましょう

大腸がんは早期のうちには、自覚症状がありません。痔と思い込まず、受診をしましょう。

精密検査として全大腸内視鏡検査が推奨されます。

◎便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果がありますが、がん検診にはメリットとデメリットがあります。

メリット（利益）

- ①早期発見・早期治療により命を守る。
- ②検診で「異常なし」と確認ができ安心。

デメリット（不利益）

- ①検診で全てのがんが見つかるわけではありません。

（偽陰性）

- ②がんがなくても、検診の結果が「要精密検査」となる場合があります。（偽陽性）

◎精密検査の結果はがん検診の質を保つ検診の評価に活用されます。

精密検査の結果は、医療機関から対がん協会に報告され、釜石市と共有されます。

●過去に大腸がんの手術をしたことがある人、定期的到大腸カメラ等で検査を受けている人、大腸の病気で治療中の人は、市の検診ではなく、医療機関で検査をお受けください。



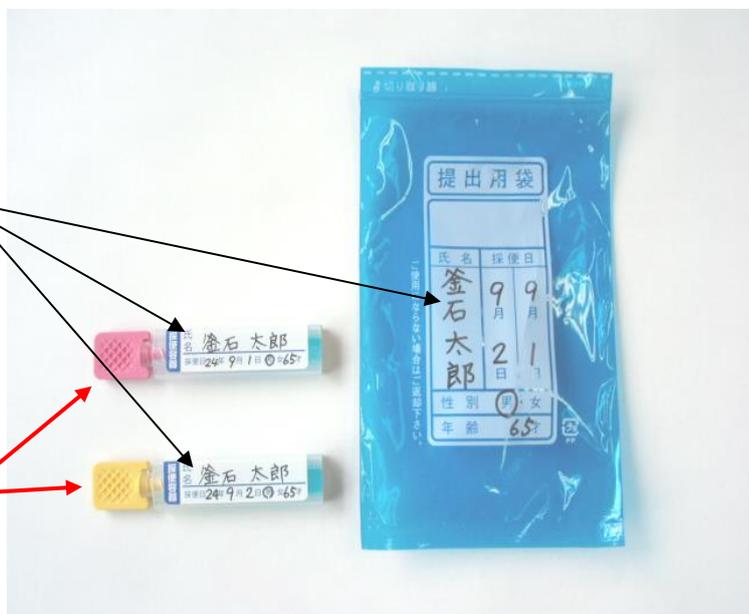
大腸がん検診採便容器の提出方法

- 同封の「便の正しい採り方」を必ずお読みください。
 - 容器の提出は、代理の方でも可能です。
- ※その際は本人の受検票を忘れずにお持ちください！

氏名・性別・年齢・採便月日を

必ず記入!

容器はどちらを先に使ってもかまいません。



【注意事項】

- ・便は2日分採り、日程表に掲載の会場で提出してください。(採便は4日前から可能です。)
- ・採便後の容器は、冷蔵庫か、保冷材を入れたクーラーボックスか発泡スチロールで保管してください。
- ・生理中は採便しないでください。
- ・バリウムを服用する胃がん検診後の便は白くなるため、胃がん検診後は 4日以上あけて、採便してください。

【よくある質問】

「便秘で毎日はお通じがない」⇒ 1~2日程度、間があいてもかまいません。

2日分採れないときは、1回の便で採便場所を変えて2日分として提出が可能です。

「1本しか採れなかった」⇒ 1本のみ提出※が可能です。

※この場合、提出は可能ですが1日分だけでは「がんの見落とし」が多くなることわかっているため、推奨されておりません。

「下痢気味である」⇒ 体調が落ち着いてから採便してください。

「容器を無くしてしまった」⇒ 健康推進課へ電話連絡してください。